

「内灘町への支援金のお礼」

250414

内灘町への支援金のお礼の手紙をいただきました。幸中生、保護者のみなさんへの感謝の言葉が綴られています。みなさんから集まった支援金は、同じ中学生である、内灘中学校のために使ってもらえるそうです。

拝啓 このたびの令和六年能登半島地震に際し、支援金を賜り、誠にありがとうございました。

地震後1年余りが経過し、本町においては、液状化現象により損壊した家屋の解体や、隆起・陥没した道路の復旧が進んでおります。しかしながら、未だ住み慣れた自宅を離れ、仮設住宅等で不自由な生活を送っている児童・生徒も多い状況であります。

それでも、日常を取り戻すには遠い道のりであることに落胆している暇はなく、一日も早い復旧に向け最善を尽くしていかなければなりません。

このような中、昨年二月に引き続き幸田中学校の皆様から温かい思いが詰まった支援金を賜り、大変心強く、感謝の念に堪えません。

いただきました支援金につきましては、内灘中学校において、子ども達のために使わせていただきます。

一歩ずつではありますが、再興に向けて着実に歩みを進めておりますので、今後とも見守っていただけますと幸いです。

まずは略儀ながら書中をもちまして、お礼を申し上げます。

敬具

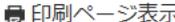
令和七年四月吉日

内灘町教育委員会 教育長 桐山 一人

幸田町教育委員会 様

幸田町立幸田中学校 様

令和6年能登半島地震内灘町災害復興計画

ページID : 0018655 更新日 : 2025年4月1日更新 

「ともに創ろう、災害に強く住みよい内灘」

令和6年能登半島地震からの本格的な復旧及び復興を加速させ、一刻も早く被災された町民が被災前の日常を取り戻すため、「ともに創ろう、災害に強く住みよい内灘」を基本理念に、町民に寄り添いながら、計画的に災害に強く住みよいまちづくりを進めます。